

令和2年度の事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人みちのくトレイルクラブ

1 事業の成果

令和2年度は、6月9日にみちのく潮風トレイル（以下「MCT」という。）全線開通1周年の記念イベントを開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により実施が困難となり、その他のハイキングイベントや名取トレイルセンター館内で行うイベント等も内容の変更や延期といった対応が必要となった。そのような状況においても、ハイキングは野外で密にならずに楽しめるアクティビティとして注目され、さらに地域内外でのMCTの認知度が上がってきている効果もあり、沿線各地ではハイカーが歩いている姿がたくさん見られるようになり、ハイカー同士がトレイル上で出会う様子がSNSに数多く投稿された。

MCT運営計画の正式運用2年目となった当該年度は、構築されてきた運営計画構成員との密な関係性を活かし、定期的な連絡会議の開催やルート巡視といった「管理」に加えて、気仙沼大島での親子ツアー造成や八戸市・普代村・気仙沼市でのメッセージアート展開催、東北DCデジタルスタンプラリーのスタンプ設置個所の選定等、MCTの「利用促進」についても連携して取り組むことができた。さらには、地域住民向けにトレイルの楽しみ方を伝えるフォーラムを開催する、沿線事業者を訪問してハイカーへのサポート等の協力を依頼する、沿線地域のメディアに定期的に取り上げていただく等、地域の中でのMCTの認知度向上につながる取組を実施した。

また、既存の環境省発行のトレイルマップに代わる地図 みちのく潮風トレイルHiking Map Bookを作成し、令和2年10月1日より販売開始するとともに、歩く計画を立てるために必要な情報を盛り込んだData Book（令和3年4月1日販売開始）を作成した。これらの取組は、環境省の復興事業として始まったMCTの運営を国だけに頼るのではなく、民間による持続可能な運営へと進めていくための第一歩である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費 (単位：千円)
①トレイルの整備・維持管理事業	・トレイルの巡視を実施。 ・トレイルの整備を実施。 ・トレイル維持管理のための管理台帳の管理・更新。	通年	トレイル沿線	8人	トレイルを利用する市民及びハイカー 不特定多数	4,161
②トレイルに関わる各種事業及び連絡調整・連携事業	・トレイルの管理運営に関わる東北各地の協力団体と管理運営に関する協議を行い、トレイルを運営統括。 ・トレイルの運営に関わる東北各地の団体と定期会議（連絡会）を開催。 ・トレイル沿線事業者を訪問し、協力依頼。	会議：通年（地域連絡会12回、サテライト連絡会2回、WEB会議9回） 事業者訪問：107件	トレイル沿線、WEB トレイル沿線	4人	各地の協力団体、トレイルを利用する市民及びハイカー	9,275
③トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	・トレイルを活用したハイキングイベント、自然観察会などの開催。	通年（4回）	東松島市～相馬市のトレイル沿線	5人	不特定多数	12,108

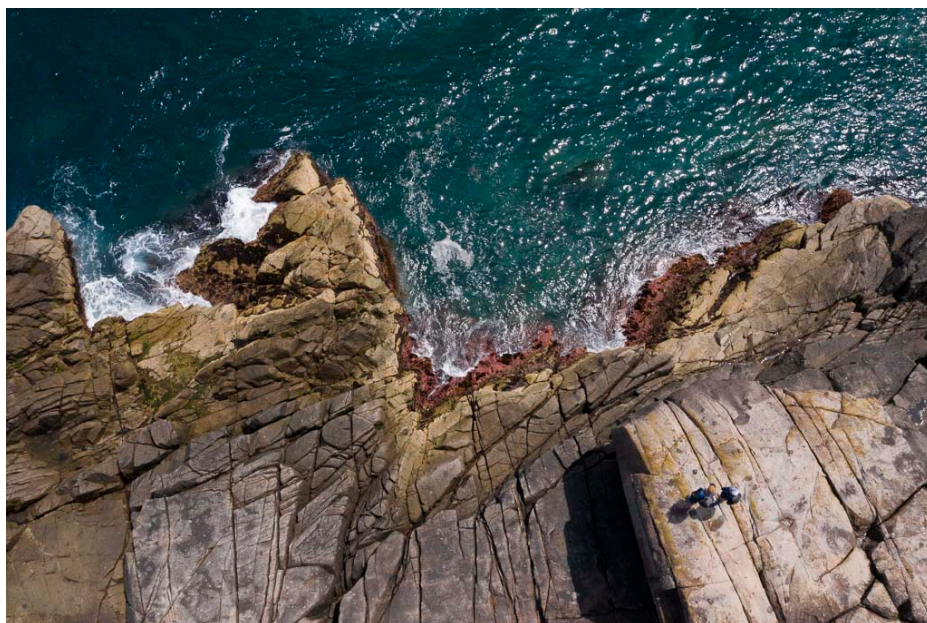
④トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	・トレイル文化の発信に係るイベントを開催。 ・展示会等への出展、広報活動。	通年（トレイルセンター内でのイベント3回、ブロックフォーラム3回） JR 駅での展示：12/11～13、3/12～14	トレイルセンター内、トレイル沿線 仙台市、盛岡市	5人	各地の協力団体、トレイルを利用する市民及びハイカー 不特定多数	10,029
⑤トレイルに関わる調査・研究事業	・トレイルとその沿線地域の発展に資するため、トレイルに関わる調査研究を行い、各地の協力団体と共有・活用。	本事業年度は、実施なし	-	-	-	-
⑥トレイルに関わる人材育成・ガイド養成事業	・トレイルに関わる人材育成、ガイド養成のための講座を開設し、地域住民によるガイド体制構築。	本事業年度は、実施なし	-	-	-	-
⑦上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業	・トレイルを管理運営するための拠点施設の管理運営。 ・ハイカーの受け入れ、地域住民との交流促進。	施設の管理：通年 環境教育・地域交流のためのイベント：3回	名取市	6人	トレイルセンター及びトレイルを利用する市民、ハイカー 不特定多数	18,339
⑧その他、第3条の目的を達成するために必要と認められる事業	・トレイルを歩く際に必要な地図等の作成・販売。	Hiking Map Book・Data Book の作成：通年 Hiking Map Book の販売：10/1～	トレイル沿線 トレイル沿線、東京都	4人	トレイルを利用する市民、ハイカー	1,529

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費 (単位：千円)
①旅行業法に基づく旅行業	・将来的に旅行業免許を取得した後の旅行業	本事業年度は、実施なし	-	-	-
②旅行業法に基づく旅行業者代理業	・将来的に旅行業者代理業免許を取得した後の旅行業者代理業	本事業年度は、実施なし	-	-	-
③宿泊施設及びガイドのあっせん事業	・ハイカーが利用できる宿泊施設を把握し提供する。 ・ガイドを希望するハイカーに、ガイドを紹介する。	本事業年度は、実施なし	-	-	-
④トレイルに関する旅行商品企画事業	・トレイルを楽しむための旅行商品を企画し、販売する。 ・トレイルを楽しむための旅行商品の販売を企画する旅行会社等に対して企画協力を行う。	本事業年度は、実施なし	-	-	-
⑤トレイル関連商品の販売事業	・トレイルに関わる用品、飲料を販売する。 ・お土産品を制作、販売する。	TRAIL GATE での物販、自動販売機での飲料販売：通年	名取トレイルセンター	5人	1,360

特定非営利活動法人みちのくトレイルクラブ

令和2年度 事業報告



目次

1. 特定非営利活動に係る事業

1.1.トレイルの整備・維持管理事業	1
1.2.トレイルに関わる各種事業及び連絡調整・連携事業	2
1.3.トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	12
1.4.トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業.....	21
1.5.トレイルに関わる調査・研究事業	34
1.6.トレイルに関わる人材育成・ガイド養成事業	34
1.7.上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業	35
1.8.その他、第3条の目的を達成するために必要と認められる事業	39

2. その他事業

2.1.旅行業法に基づく旅行業	43
2.2.旅行業法に基づく旅行業者代理業	43
2.3.宿泊施設及びガイドのあっせん事業.....	43
2.4.トレイルに関する旅行商品企画事業.....	43
2.5.トレイル関連商品の販売事業.....	44

1. 特定非営利活動に係る事業

1.1. トレイルの整備・維持管理事業

1.1.1. 環境省所管区間のトレイルの管理

(令和2年度みちのく潮風トレイル名取トレイルセンター管理運営等業務)

【委託元】 環境省東北地方環境事務所

【履行期間】 令和2年4月1日～令和3年3月31日

【実施内容】

環境省所管区間(岩手県久慈市、普代村、田野畑村、岩泉町、宮古市、山田町内8区間)について、路面、路体施設、標識、草の繁茂状況等の確認及び草刈り等の整備を当法人の正会員(社員)が実施した。実施区間及び実施回数は以下の通り。

【実施者】

- ① 特定非営利活動法人体験村たのはた・ネットワーク 実施区間：①～④
- ② 一般社団法人浄土日和 実施区間：⑤～⑧

【実施区間】

- ① 岩手県久慈市宇部町小袖～久喜(14回/年)
- ② 岩手県下閉伊郡普代村黒崎(14回/年)
- ③ 岩手県下閉伊郡田野畑村北山崎(14回/年)
- ④ 岩手県下閉伊郡田野畑村真木沢～岩泉町小本(14回/年)
- ⑤ 岩手県宮古市重茂与奈～とどヶ崎(14回/年)
- ⑥ 岩手県山田町川代～大沢浜川目(14回/年)
- ⑦ 岩手県下閉伊郡山田町船越大浦霞露ヶ岳参詣道入口～霞露ヶ岳頂上(14回/年)
- ⑧ 岩手県下閉伊郡山田町船越田の浜～牛転橋峠～国民宿舎タブノキ荘跡地(14回/年)

【考察】

繰り返し整備を行うことや歩くハイカーの数の増加に伴い、草が繁茂しやすかったトレイルルートでの整備回数も減少できる傾向にある。倒木や崩落等については、今後も継続して定期的な確認が必要である。



1.2. トレイルに関わる各種事業及び連絡調整・連携事業

1.2.1. みちのく潮風トレイルの管理運営に関する業務

(令和2年度みちのく潮風トレイル名取トレイルセンター管理運営等業務)

【委託元】 環境省東北地方環境事務所

【履行期間】 令和2年4月1日～令和3年3月31日

【実施内容】

「みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター運営協議会事業基本計画」の事業1に基づき、サテライトと連携して、トレイル全線の管理運営に取り組んだ。

① トレイル沿線の情報収集及び発信

トレイル全線の情報を収集するため、みちのく潮風トレイル運営計画の構成員に呼びかけを行い、一斉巡視等を依頼し、サテライト経由でその情報及び適宜必要な情報を収集した。収集した情報は整理し、運営上有益な情報は、サテライトを経由し、路線管理者や利用者に共有した。また、センターがサテライトとして管轄する宮城県東松島市～福島県相馬市までの区間については、各市町村担当者など関係者から直接情報を収集・集約し、関係者と状況共有を行った。適宜現地確認による情報収集も行った。本業務中、名取自然保護官事務所担当官及び各地の自然保護官と連絡調整や確認をしながら実施した。

② 地域連絡会の開催

運営計画に基づき、トレイルの運営に関する課題や情報共有を図るため、サテライトと協力して、地域連絡会を開催した。地域連絡会は、サテライト担当範囲（6ブロック）ごとに各2回以上実施し、サテライトを通じて、担当範囲に該当する県や市町村に対し、参集を要請した。

＜第1回＞

1. 種差海岸インフォメーションセンター（以下「種差海岸 IC」という。）管轄区間

(ア) 日時：令和2年6月29日(月)10:00～12:00

(イ) 会場：種差海岸 IC

(ウ) 出席者：青森県観光企画課、八戸市観光課、階上町産業振興課、洋野町水産商工課、一般社団法人 VISIT はちのへ、環境省東北地方環境事務所(国立公園課、八戸・宮古自然保護官事務所)、NPO 法人 ACTY、NPO 法人みちのくトレイルクラブ、欠席者：岩手県自然保護課

(エ) 実施概要：運営計画等を説明した後、構成員から巡視結果や標識の整備状況、ルート変更箇所等の報告があり、統括本部からは2020年度に実施する事業や



利用促進の取組等について共有した。その他、各出席者から地域での取組の情報共有があった。

2. 北山崎ビジターセンター（以下「北山崎 VC」という。）管轄区間

（ア）日時：令和2年6月30日（月）15:00～17:30

（イ）会場：道の駅くじ

（ウ）出席者：久慈市観光交流課、野田村未来づくり推進課、普代村農林商工課、田野畑村政策推進室、久慈市観光物産協会、環境省東北地方環境事務所（国立公園課、宮古自然保護官事務所）、NPO 法人体験村・たのはたネットワーク、NPO 法人みちのくトレイルクラブ、欠席者：岩手県自然保護課、野田村トレイル振興会、久慈広域観光協議会、三陸北部森林管理署久慈支署

（エ）実施概要：運営計画等を説明した後、構成員から巡視結果や工事状況等の報告があり、統括本部からは2020年度に実施する事業や利用促進の取組等について共有した。その他、新型コロナウイルス感染症対応状況が共有された。

3. 浄土ヶ浜ビジターセンター（以下「浄土ヶ浜 VC」という。）管轄区間

（ア）日時：令和2年7月1日（水）13:30～16:30

（イ）会場：浄土ヶ浜 VC

（ウ）出席者：岩泉町経済観光交流課、宮古市観光課、山田町水産商工課、岩手県自然保護課、林野庁三陸北部森林管理署、志賀スポーツ店、環境省東北地方環境事務所（国立公園課、宮古自然保護官事務所）、浄土ヶ浜 VC 運営協議会、NPO 法人みちのくトレイルクラブ

（エ）実施概要：運営計画等を説明した後、構成員から巡視結果や工事状況等の報告があり、統括本部からは2020年度に実施する事業や利用促進の取組等について共有した。その他、ナラ枯れ調査・伐採予定や新型コロナウイルス感染症対策事例が共有された。

4. 碁石海岸インフォメーションセンター（以下「碁石海岸 IC」という。）管轄区間

（ア）日時：令和2年7月2日（木）13:30～16:00

（イ）会場：大船渡市役所

（ウ）出席者：釜石市商業観光課、大船渡市観光推進室、陸前高田市観光交流課、気仙沼市観光課、岩手県大船渡地域振興センター地域振興課、陸前高田市観光物産協会、気仙沼市唐桑半島ビジターセンター、環境省東北地方環境事務所（国立公園課、宮古・大船渡自然保護官事務所）、一般社団法人大船渡市観光物産協会、NPO 法人みちのくトレイルクラブ、欠席者：大槌町産業振興課、岩手県自然保護課、宮城県観光課



(エ)実施概要：運営計画等を説明した後、構成員から巡視結果や工事状況、標識設置等の報告があり、統括本部からは 2020 年度に実施する事業や利用促進の取組等について共有した。

5. 南三陸・海のビジターセンター（以下「南三陸・海の VC」という。）管轄区間

(ア)日時：令和 2 年 7 月 3 日（金）10:00～12:00

(イ)会場：石巻・川のビジターセンター

(ウ)出席者：南三陸町商工観光課、女川町産業振興課、石巻市観光課、宮城県観光課、石巻市河北・北上・牡鹿・雄勝総合支所地域振興課、カリタス南三陸、石巻山の会、女川ネイチャーガイド協会、石巻観光協会、女川観光協会、南三陸観光協会、牡鹿半島ビジターセンター、一般社団法人おしかリンク、宮城県観光連盟、環境省東北地方環境事務所（宮古・石巻自然保護官事務所）、NPO 法人海の自然史研究所、NPO 法人みちのくトレイルクラブ、欠席者：宮城県自然保護課、石巻県観光推進機構

(エ)実施概要：運営計画等を説明した後、構成員から巡視結果や整備状況等の報告があり、統括本部からは 2020 年度に実施する事業や利用促進の取組等について共有した。その他、ヤマビル対策や宮城オルレについても共有された。

6. みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター
（以下「名取 TC」という。）管轄区間

(ア)日時：令和 2 年 7 月 6 日（月）14:30～16:30

(イ)会場：名取 TC

(ウ)出席者：東松島市商工観光課、塩竈市観光交流課、仙台市東北連携推進室、名取市ク



リーン対策課、亘理町財政課、亘理町商工観光課、山元町商工観光交流課、新地町企画振興課、相馬市商工観光課、宮城県自然保護課、宮城県観光課、福島県自然保護課、名取市観光物産協会、新地町観光協会、相馬市観光協会、宮城県観光連盟、福島県観光物産交流協会、環境省東北地方環境事務所（国立公園課、宮古自然保護官事務所）、NPO 法人みちのくトレイルクラブ、欠席者：多賀城市商工観光課、岩沼市商工観光課

(エ)実施概要：運営計画等を説明した後、構成員から巡視結果や工事状況等の報告があり、統括本部からは 2020 年度に実施する事業や利用促進の取組等について共有した。

<第 2 回>

1. 種差海岸 IC 管轄区間

(ア)日時：令和 3 年 2 月 9 日（火）15:00～17:00

(イ)会場：種差海岸 IC 及びオンライン（Zoom）

(ウ)出席者：青森県観光企画課、八戸市観光課、階上町産業振興課、洋野町水産商工課、一般社団法人 VISIT はちのへ、環境省東北地方環境事務所（国立公園課、

八戸・宮古自然保護官事務所)、NPO 法人 ACTY、NPO 法人みちのくトレイルクラブ、欠席者:岩手県自然保護課

(エ)実施概要:構成員から工事状況や路線変更の報告があり、統括本部からは 2020 年度に実施した事業や利用促進の取組等について報告した。その他、各出席者から地域での取組が共有され、サテライトから「地域連絡会を管轄区間の魅力アップのための話し合いの場としたい」という提案があった。

2. 北山崎 VC 管轄区間

(ア)日時:令和 3 年 2 月 9 日(火)9:30~11:30

(イ)会場:道の駅くじやませ土風館及びオンライン (Zoom)

(ウ)出席者:久慈市観光交流課、野田村未来づくり推進課、普代村農林商工課、田野



畑村政策推進室、岩手県自然保護課、久慈広域観光協議会、環境省東北地方環境事務所(国立公園課、宮古自然保護官事務所)、NPO 法人体験村・たのはたネットワーク、NPO 法人みちのくトレイルクラブ、欠席者:野田村トレイル振興会、久慈市観光物産協会、三陸北部森林管理署久慈支署

(エ)実施概要:構成員から工事状況や路線変更の報告があり、統括本部からは 2020 年度に実施した事業や利用促進の取組等について報告した。その他、新型コロナウイルス感染症対応状況やハイカーからの意見とその対応が共有された。

3. 浄土ヶ浜 VC 管轄区間

(ア)日時:令和 3 年 2 月 8 日(月)14:30~16:30

(イ)会場:浄土ヶ浜 VC 及びオンライン (Zoom)

(ウ)出席者:岩泉町経済観光交流課、宮古市観光課、山田町水産商工課、岩手県自然保護課、林野庁三陸北部森林管理署、志賀スポーツ店、環境省東北地方環境事務所(国立公園課、宮古自然保護官事務所)、浄土ヶ浜ビジターセンター運営協議会、NPO 法人みちのくトレイルクラブ



(エ)実施概要:構成員から工事状況や路線変更の報告があり、統括本部からは 2020 年度に実施した事業や利用促進の取組等について報告した。その他、ナラ枯れの伐採予定や新たな取組事例が共有された。

4. 碓石海岸 IC 管轄区間

(ア)日時:令和 3 年 2 月 8 日(月)9:30~11:40

(イ)会場:大船渡市魚市場及びオンライン (Zoom)

(ウ)出席者:釜石市商業観光課、大船渡市観光推進室、陸前高田市観光交流課、岩手県自然保護課、宮城県観光課、宮城県観光連盟、岩手県大船渡地域振興センター地域振興課、陸前高田市観光物産協会、気仙沼市唐桑半島ビジターセンタ

一、環境省東北地方環境事務所(国立公園課、宮古・大船渡自然保護官事務所)、一般社団法人大船渡市観光物産協会、NPO 法人みちのくトレイルクラブ、欠席者：大槌町産業振興課、気仙沼市観光課

(エ)実施概要：構成員から巡視結果や工事状況の報告があり、統括本部からは2020年度に実施した事業や利用促進の取組等について報告した。その他、路体管理の課題や整備ボランティア活動結果、地域でのトレイルの活用事例が共有された。

5. 南三陸・海の VC 管轄区間

(ア)日時：令和3年2月10日(水)
13:30~15:30

(イ)会場：南三陸・海の VC 及びオンライン (Zoom)

(ウ)出席者：南三陸町商工観光課、

女川町産業振興課、石巻市観光課、宮城県観光課、石巻市北上総合支所地域振興課、カリタス南三陸、石巻山の会、女川ネイチャーガイド協会、女川観光協会、牡鹿半島ビジターセンター、宮城県観光連盟、石巻県観光推進機構、環境省東北地方環境事務所(国立公園課、宮古・石巻自然保護官事務所)、NPO 法人海の自然史研究所、NPO 法人みちのくトレイルクラブ、欠席者：石巻市河北・牡鹿・雄勝総合支所地域振興課、宮城県自然保護課、石巻観光協会、南三陸観光協会、一般社団法人おしかリンク

(エ)実施概要：構成員から巡視・メンテナンス結果の報告があり、統括本部からは2020年度に実施した事業や利用促進の取組等について報告した。その他、管内で問題になっているトレイルへのオフロードバイク侵入について状況を共有した。

6. 名取 TC 管轄区間

(ア)日時：令和3年2月12日(金) 14:00~16:00

(イ)会場：名取 TC 及びオンライン (Zoom)

(ウ)出席者：東松島市商工観光課、塩竈市観光交流課、多賀城市商工観光課、仙台市東北連携推進室、岩沼市商工観光課、名取市クリーン対策課、亘理町商工観光課、山元町商工観光交流課、相馬市商工観光課、宮城県自然保護課、宮城県観光課、福島県自然保護課、名取市観光物産協会、新地町観光協会、相馬市観光協会、宮城県森林整備課、宮城県東部地方振興事務所林業振興部、宮城県観光連盟、福島県観光物産交流協会、環境省東北地方環境事務所(国立公園課、名取・宮古自然保護官事務所)、NPO 法人みちのくトレイルクラブ、欠席者：新地町企画振興課

(エ)実施概要：構成員から工事状況や標識設置工事、路線変更の報告があり、統括本部からは2020年度に実施した事業や利用促進の取組等について報告した。



その他、宮城県森林整備課から「みやぎ海岸防災林・森林づくり管理方針」の説明があった。

③ サテライト連絡会の開催

運営計画に基づき、トレイル全線を運営していくための課題や情報の共有、運用方針について協議するため、サテライト連絡会を2回開催した。

<第1回（北山崎 VC 管轄区間）>

1. エクスカーション

(ア)日時：令和2年6月22日（月）13:00~17:30

(イ)出席者：NPO 法人 ACTY、NPO 法人体験村・たのはたネットワーク、大船渡市観光物産協会、NPO 法人海の自然史研究所、環境省東北地方環境事務所（国立公園課、八戸・宮古・大船渡・石巻自然保護官事務所）、一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所、NPO 法人みちのくトレイルクラブ

(ウ)実施内容：2グループに分け、久慈市本波海岸～洋野町高家川間を草刈り等の整備を行うとともに、高家川の渡渉を体験した。



2. 会議

(ア)日時：令和2年6月23日（火）8:30~15:30

(イ)会場：侍の湯きのこ屋

(ウ)出席者：NPO 法人 ACTY、NPO 法人体験村・たのはたネットワーク、浄土ヶ浜ビジターセンター運営協議会、大船渡市観光物産協会、NPO 法人海の自然史研究所、環境省東北地方環境事務所（国立公園課、八戸・宮古・大船渡・石巻自然保護官事務所）、一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所、NPO 法人みちのくトレイルクラブ

(エ)実施内容：平井和也氏から「地球環境問題（温暖化）とみちのく潮風トレイル」について話題提供があり、出席者でエクスカーションの振り返り、巡視結果・工事状況の共有を行った。統括本部からは運営計画等の説明、2020 年度に実施する事業や利用促進の取組等について共有した。



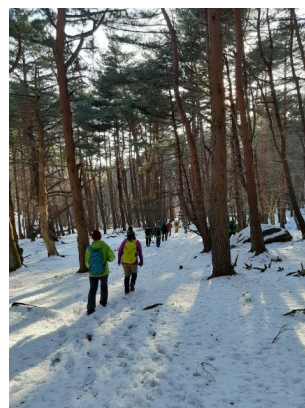
<第2回（碁石海岸 IC 管轄区間）>

1. エクスカーション

(ア)日時：令和3年1月14日(木) 13:00~16:00

(イ)出席者：浄土ヶ浜VC運営協議会、大船渡市観光物産協会、環境省東北地方環境事務所（国立公園課、八戸・宮古・大船渡・石巻・名取自然保護官事務所）、NPO 法人みちのくトレイルクラブ

(ウ)実施内容：釜石市側登り口から大船渡市側登り口まで積雪のある鋤台峠を歩き、雪道のハイキングを体験した。



2. 会議

(ア)日時：令和3年1月15日(金) 9:00~15:10

(イ)会場：ホテルサンルート釜石

(ウ)出席者：NPO 法人 ACTY、NPO 法人体験村・たのはたネットワーク、浄土ヶ浜ビジターセンター運営協議会、大船渡市観光物産協会、NPO 法人海の自然史研究所、環境省東北地方環境事務所（国立公園課、八戸・宮古・大船渡・石巻・名取自然保護官事務所）、NPO 法人みちのくトレイルクラブ



(エ)実施内容：株式会社かまいし DMC 久保竜太氏から「国際基準を活用した持続可能な観光地マネジメントの取り組み」について話題提供があり、出席者でエクスカーションの振り返り、工事状況や標識設置工事、路線変更の共有を行った。統括本部からは運営計画等の説明、2020 年度に実施した事業や利用促進の取組等について報告した。

④ 災害発生時の緊急対応

大規模災害発生時には、委託元担当官の指示の元、災害対応マニュアルに従い、トレイルルートの巡視等を行うことになっている。2020 年度は、沿線自治体から警戒レベル3以上が発令されたことに伴うトレイル利用者向けの注意喚起を4回（7/28, 9/12, 9/23, 9/25）行った。

1.2.2. 地域におけるハイカー受入体制の強化

(令和2年度みちのく潮風トレイル名取トレイルセンター管理運営等業務)

【委託元】 環境省東北地方環境事務所

【履行期間】 令和2年4月1日～令和3年3月31日

【実施内容】

地域におけるハイカーの受入体制を強化するため、種差海岸 IC、碓石海岸 IC、南三陸・海の VC、名取 TC の4管轄区間について、ハイカーへの協力が可能な沿線事業者を訪問し、ハイカーへの宿泊場所・充電設備等の提供や、路体管理への参画等、トレイルへの協力が可能な施設等について整理した。この事業は、令和元年度に北山崎 VC、浄土ヶ浜 VC の管轄区間において実施した事業の継続事業であり、得られた情報の将来的な公開に向けて実施した。

【考察】

各サテライト施設運営組織、現地自然保護官事務所のご協力のもと、4管轄区間で合計107件の事業者を訪問し、みちのく潮風トレイルの取組やハイカーを支える国内外の地域住民の活動等を紹介すると共に、訪れたハイカーへのサポート等の協力を依頼した。訪問した事業者の多くはハイカーとの何かしらの交流がすでにあり、ハイカーを好意的に迎え入れてくださっている状況が明らかになった。通常事業での協力だけでなく、ハイカーのニーズに沿った新たなサポート、サービスを検討、提供くださる事業者も数多くあった。



一方で、こうしたサポートを全線開通以前から提供してくださっていたにもかかわらず、ハイカーに情報が届かず、利用者が少ない状況も判明した。

当法人として、HPやデータブック等での情報発信を開始し、広くハイカーへ周知するとともに、地域事業者がみちのく潮風トレイルの取組に参画し、訪れるハイカーとの交流の場を増やせるように、今後も情報収集を継続し、ハイカーの歩き旅を支える体制を構築していきたい。

みちのく潮風トレイルサポーターズ

MCT Supporters

「みちのく潮風トレイル事業」や長期種ハイキングのマナーと共に考え、実践していただくハイカーの皆様には、いつも心より感謝しております。

下記のリストは、ハイカーの皆様が楽しく、安全に、みちのく潮風トレイルの歩き旅ができるよう、さまざまな「サポート」を用意して下さっている地元の皆様です。ハイカーの皆様との出会いや、交流を楽しみにされていますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。もし出会えなかったとしても、次の出会いを楽しみにしてください。

また、リストの中には、Data BookやHiking Map Book、みちのくトレイルクラブ会誌と併せて特別なサービスを提供して下さる事業者もあります。詳細をご確認ください。

八戸市									
種別/管轄区間	名称	観光	トレイル	充電	送迎	飲料	テント	トイレ	その他
	八戸港・タムラウジアン・はっち、カネイ川 Hachinohe Port Museum "hatchi" KANEI 川							○	○
	OUTDOOR BOX RIVER RUNS	○	○	○				○	○
MCT-1-1	種別/管轄区間 Varigawa Store	○	○						ガス缶・キャンプ用品販売 Sells gas canisters, camping goods
南上市									
種別/管轄区間	名称	観光	トレイル	充電	送迎	飲料	テント	トイレ	その他
MCT-1-2	はしのみやの森 ありていば Hasekawa Hana no Mori Ashiba		○						ふのりトナーズ1日サービス One Free Funori steamed bun&.
MCT-1-3	新井商店 野原 Nishikawa Store		○	○					
MCT-1-4	ファミレストイレ 野原 Fami-resto Hasekawa		○						飲み物提供 Free drink
MCT-1-5	茶屋 茶屋 Tea House Tachibana					○	○		
洋野町									
久慈市									

1.2.3. 地域事業者との連携

【履行期間】 令和2年4月1日～令和3年3月31日

【実施内容】

トレイル沿線地域でトレイル運営について協働する事業者（主にサテライト施設）とオンライン上でトレイル運営に関する情報共有、意見交換等を行った。

① 令和2年4月15日（水）9:00～10:45

（ア）出席者：種差海岸 IC（町田）、北山崎 VC（楠田）、浄土ヶ浜 VC（佐々木）、碁石海岸 IC（中野）、南三陸・海の VC（平井）、名取 TC（相澤、西澤、森）

（イ）概要：コロナの影響、前年度の振り返り、連絡会の調整、今年度の取組について

② 令和2年5月15日（金）9:00～11:00

（ア）出席者：種差海岸 IC（町田）、北山崎 VC（楠田）、浄土ヶ浜 VC（佐々木）、碁石海岸 IC（中野）、南三陸・海の VC（平井、上田）、名取 TC（相澤、関、西澤、森）

（イ）概要：コロナの影響、連絡会の調整、状態把握の実施状況、その他取組の共有について

令和2年6月12日（金）9:00～11:00

（ウ）出席者：種差海岸 IC（町田）、北山崎 VC（楠田）、浄土ヶ浜 VC（佐々木）、碁石海岸 IC（中野）、南三陸・海の VC（平井、上田）、名取 TC（相澤、関、板谷、西澤、森）

（エ）概要：コロナの影響、連絡会の調整、状態把握の実施状況、その他取組の共有について

③ 令和2年8月6日（木）9:00～11:00

（ア）出席者：種差海岸 IC（町田）、北山崎 VC（楠田）、浄土ヶ浜 VC（佐々木）、碁石海岸 IC（中野）、南三陸・海の VC（平井、上田）、名取 TC（相澤、関、板谷、西澤、森）

（イ）概要：ブロックフォーラムの開催、マップ配布施設の変更、その他取組の共有について

④ 令和2年9月4日（金）9:00～11:00

（ア）出席者：種差海岸 IC（町田）、北山崎 VC（楠田）、浄土ヶ浜 VC（佐々木）、碁石海岸 IC（中野）、南三陸・海の VC（平井）、名取 TC（相澤、関、板橋、西澤、森）

（イ）概要：ハイカー動向、Map Book・HPの作成、その他取組の共有について

⑤ 令和2年10月8日（木）9:00～10:30

（ア）出席者：種差海岸 IC（町田）、北山崎 VC（楠田）、浄土ヶ浜 VC（佐々木）、碁石海岸 IC（中野）、南三陸・海の VC（平井）、名取 TC（相澤、関、西澤、森）

(イ)概要：ハイカー動向、Map Book・HP の作成、その他取組の共有について

⑥ 令和2年11月11日(水) 9:00～10:20

(ア)出席者：種差海岸 IC (町田)、北山崎 VC (楠田)、浄土ヶ浜 VC (佐々木)、碁石海岸 IC (中野)、南三陸・海の VC (平井)、名取 TC (相澤、関、西澤、森)

(イ)概要：ハイカー動向、連絡会の調整、その他取組の共有について

⑦ 令和2年12月11日(金) 9:10～10:40

(ア)出席者：種差海岸 IC (町田)、北山崎 VC (楠田)、浄土ヶ浜 VC (佐々木)、碁石海岸 IC (中野)、南三陸・海の VC (平井)、名取 TC (相澤、関、西澤、森)

(イ)概要：ハイカー動向、連絡会の調整、センターキャンプ場、その他取組の共有について

⑧ 令和3年2月17日(水) 9:10～11:10

(ア)出席者：種差海岸 IC (町田)、北山崎 VC (楠田)、浄土ヶ浜 VC (在原)、碁石海岸 IC (中野)、南三陸・海の VC (平井、西條)、名取 TC (相澤、関、西澤、森)

(イ)概要：連絡会の報告、連絡会の進め方、その他取組の共有について

⑨ 令和3年3月19日(金) 9:10～11:10

(ア)出席者：種差海岸 IC (町田)、北山崎 VC (楠田)、浄土ヶ浜 VC (佐々木)、碁石海岸 IC (中野)、南三陸・海の VC (平井、西條)、名取 TC (相澤、関、西澤、森)

(イ)概要：連絡会の進め方、運営計画に基づく役割、その他取組の共有について

【考察】

広域連携の取組であるみちのく潮風トレイルを運営するために、核となる事業者が定期的に情報交換し、今後の方向性等を共有、検討する場としてオンラインでの打合せが定着してきた。この場で、顔を合わせて、忌憚の無い情報交換ができることで、距離を超えた運営体制を維持していけるものとする。

1.3. トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業

1.3.1. うつくしま浜街道トレイル（仮）ハイキングイベント実施業務

【委託元】 公益財団法人福島県観光物産交流協会

【履行期間】 令和2年11月20日～令和3年3月7日

【実施内容】

福島県浜通り地域（新地町、相馬市、南相馬市、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楡葉町、広野町、いわき市）の3市7町をつなぐトレイルルートを策定するにあたり、俳優のなすび氏をゲストにお迎えし、その一部（富岡町、楡葉町、広野町、いわき市）のルートを利用した1泊2日のハイキングイベントの情報発信及び、当日の運営を行った。なお、イベント開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを作成し、感染症対策に留意した。

① 「うつくしま浜街道トレイル」を歩こう！

（ア）開催日：令和3年2月19日（金）～20日（土）

（イ）参加人数：2日間延べ82名

（ウ）行程（歩行箇所）

1日目：富岡駅～波倉地区集会場～天神岬～Jヴィレッジ（約17.2km）

2日目：Jヴィレッジ～二ツ沼総合公園

～広野町防災緑地～夕筋踏切～秋葉神社（約15km）

【考察】

市町村担当者や地元団体が参加者の中心であったが、地元の方からお振る舞いやお土産をいただいたり、2日目に広野町長が広野町区間を歩いてくださったりと、イベントを通して、市町村担当者がトレイルの取り組みを非常に好意的に捉えてくださっていることが分かった。本トレイルはみちのく潮風トレイルとの接続を目標に策定が進められているため、引き続き関わりを深めていきたい。



1.3.2. 復興庁補助事業／みちのく潮風トレイルを世界に発信

【委託元】 復興庁／株式会社 地球の歩き方 【協働事業者】 WALK JAPAN

【履行期間】 令和2年6月12日～令和3年3月31日

【実施目的】

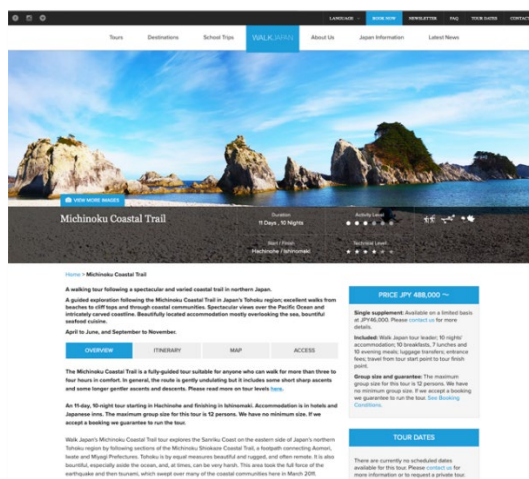
海外からのみちのく潮風トレイル訪問希望のニーズに応え、より多くの外国人ハイカーにみちのく潮風トレイルへのアクセス回路を設け、を気軽に安心して楽しんでいただく。

【実施内容】

復興庁の「新しい東北」事業において、株式会社地球の歩き方の協力を得て、みちのく潮風トレイルを海外に発信するための各種事業を実施した。

① 商品づくりと磨き上げ

中山道や熊野古道に外国人利用者を多く送客し、インバウンドにおける日本の歩く旅のムーブメントを作り上げてきた WALK JAPAN の協力を得て 10 泊 11 日のツアー商品を作成した。



日程：10 泊 11 日

区間：八戸～石巻

難易度：★★★★☆

運動強度：●●●○○○

金額：480,000 円

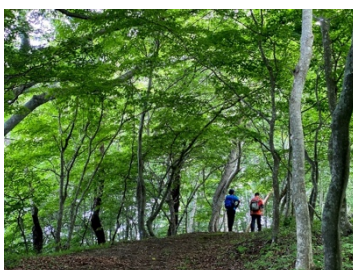
催行人数：12 名

↑ WALK JAPAN の MCT 商品 HP / <https://walkjapan.com/tour/michinoku-coastal-trail>

② モデルルート造成

国内外から、最初に歩くルートを教えて欲しいという要望があるため、モデルルートを検討した。モデルルート検討にあたっては、地球の歩き方、WALK JAPAN 担当者と共に現地を実際に歩き各所確認していただきながら 4 ルート作成した。

また、WALK JAPAN のニューズレターでみちのく潮風トレイルに関する情報発信をしていただき、WALK JAPAN の日本ファンの顧客にトレイルの概要をお伝えした。



③ パンフレット制作

作成したモデルルートに、アクセス、宿泊、見所等を掲載したモデルルートのパンフレットを作成した。パンフレットは英語版のみ印刷して各所で配布し、日本語版はPDFで作成して国内の利用者（個人、旅行代理店等）にも活用していただくこととした。また、日本語版、英語版ともデジタルブック形式でも見られるようにし、多くの方にちのく潮風トレイルを歩いていただけるよう今後活用していく。



<パンフレット>

体裁：A4/16p、オールカラー、英語 部数：5,000 部

配布先：名取トレイルセンター、観光案内所、国内 DMC、イベントでの活用等

電子版 PDF：日本語版・英語版

<デジタルブック>

日本語 <https://www.gltjp.com/ja/ebook/book/219/>

英語 <https://www.gltjp.com/ja/ebook/book/218/>

④ トレイルガイド研修

海外の受け入れ態勢強化の一環として、歩く旅のガイドを専門にしている WALK JAPAN のツアーリーダーを招聘し、トレイルガイド研修を実施した。

(ア)実施日：令和2年11月26日（木）～11月28日（土） 2泊3日

(イ)研修行程

1日目：岩手県宮古市 浄土ヶ浜パークホテルの会議室にて終日座学

2日目：歩く旅に必要な「安全管理の基本」「コミュニケーション」について座学とトレイルでの実地研修3日目：まとめ（座学）

(ウ)研修対象者：通訳案内士試験に合格されている方、海外からのお客様を案内する／したい方

(エ) 参加申込人数：20 名（男性 8 名／女性 12 名）



⑤ ファムトリップ実施

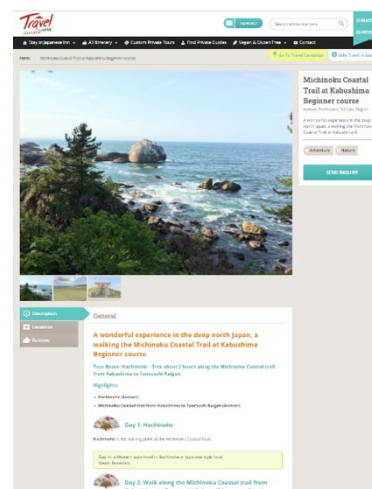
旅行会社 5 社を招請し、実際にみちのく潮風トレイルを歩いていただき、商品造成につながるための視察ツアーを実施した。

(ア) 実施日：令和 2 年 9 月 8 日（火）～12 日（土） 4 泊 5 日

(イ) 行程：盛岡～遠野～宮古～みちのく潮風トレイル～八戸

(ウ) ツアー内容：WALK JAPAN ツアーリーダーとともに視察を行ったルートをベースにトレイル＋ユニーク体験を組み合わせた

(エ) 参加旅行会社：Follow me Japan／Ayabex／Windows to Japan／Emilia Travel／Heartland Japan



視察後に旅行会社（エミリオトラベル）が以下の 5 つの商品販売を開始した。

1.Cycling at local area in Tono

<https://www.travelarrangejapan.com/tours/cycling-at-local-area-in-tono/>

2.Michinoku Coastal Trail at JodogahamaBeginner course

<https://www.travelarrangejapan.com/tours/michinoku-coastal-trail-at-jodogahama-beginner-course/>

3.Michinoku Coastal Trail at Jodogahamaand FudaiMedium Course

<https://www.travelarrangejapan.com/tours/michinoku-coastal-trail-at-jodogahama-and-fudai-medium-course/>

4.Michinoku Coastal Trail at KabushimaBeginner course

<https://www.travelarrangejapan.com/tours/michinoku-coastal-trail-at-kabushima-beginner-course/>

5.Michinoku Coastal Trail at Kabushimaand Samurai ishiMedium course

<https://www.travelarrangejapan.com/tours/michinoku-coastal-trail-at-kabushima-and-samurai-ishi-medium-course/>

⑥ 先進地視察

インバウンド事業における先進地として、熊野古道を運営する田辺市熊野ツーリズム

ビューロー全面協力のもとに田辺市で実地研修を実施した。新型コロナウイルスの影響でサテライトメンバー等の参加は実現できず、動画配信と映像記録を作成した。三陸の関係者とも共有し、熊野古道からの学びを今後につなげられるように取り組んだ

(ア)実施日：令和3年1月31日（日）～2月3日（水） 3泊4日

(イ)参加者：相澤、地球の歩き方 弓削氏、カメラマン泉山氏

(ウ)行程

1/31 移動日

2/1 座学／レクチャー

視察／熊野古道館、熊野古道ウォーク with 語り部、滝尻王子～高原林道、
高原熊野神社

霧の郷たかはらオーナー講演・意見交換会

2/2 視察／熊野古道ウォーク、発心門王子～熊野本宮大社、本宮町内視察、
民宿立石 女将との意見交換

2/3 移動日



【考察】

コロナ禍でスムーズにいかない部分はあったが、当初の目的であるルート、パンフレット等の作成ができた。また、10日間のツアー造成や様々な商品造成販売につながった。

造成された旅行商品には問い合わせも入り始めており、コロナ後には十分集客できるだろう。FIT や問い合わせについては、今回作成したガイドブックが役に立ち、これから様々な場面での活用が期待できる。

受け入れ体制では、英語ガイドの強化が必要だが、東北 DMC やガイド協会と連携しながら関係強化を進める。トレイルを歩く人を増やし、地域の方々との連携を強化し、交流人口を増やすことで東北を元気にできるよう、今回協働した事業者さんらは今後もみちのく潮風トレイルに協力したいと話してくれており、トレイルクラブだけでは実現できない事業により多くの方に関わりを持っていただけるよう取り組んでいくことの重要性も再認識された。

1.3.3. 環境省補助事業／気仙沼大島での親子ツアー造成

【委託元】 環境省 【協働事業者】 株式会社 JTB 仙台支店

【履行期間】 令和 2 年 10 月 14 日～令和 3 年 2 月 28 日

【実施内容】

環境省の補助金を活用し、気仙沼大島地域のトレイルコースを活用したモニターツアーの企画運営を行った。実施にあたっては株式会社 JTB 仙台支店が事務局を務めるとともに、トレイルブレイズハイキング研究所所長の長谷川氏にアドバイザーを依頼し、大島の魅力と歩く楽しみが伝わるツアー内容となるように留意した。また、地域の方を交えての検討会を複数回実施し、ツアー当日は地域の方が「案内人」として参加者をガイドした。

① 第 1 回検討会

ハイキングに関する勉強会を実施した後 2 日間に渡り、地元の方にお話を伺いながら気仙沼大島のトレイルコースを実走した。

(ア) 日時：令和 2 年 10 月 17 日～18 日

(イ) 参加人数：2 日間延べ 32 名

② 第 2 回検討会

第 1 回検討会のコース確認を基に、モニターツアー当日の進行やルート上の危険箇所を確認した。

(ア) 日時：令和 2 年 11 月 9 日

(イ) 参加人数：12 名

③ モニターツアー

(ア) 日時：令和 3 年 11 月 21 日～22 日

(イ) 参加人数：4 家族 15 名、スタッフ 9 名

(ウ) 行程（歩行箇所）

1 日目：気仙沼大島大橋～気仙沼大橋ウェルカムターミナル～

崎浜集会所（甚句鑑賞・体験）～龍舞崎 約 7km

2 日目：龍舞崎～親王平駐車場～小田の浜～体験四阿～磯草駐車場 約 12km

④ 第 3 回検討会

事業関係者でモニターツアーの振り返りを実施し、来年度への展望を検討した。

(ア) 日時：令和 3 年 1 月 19 日

(イ) 参加人数：16 名

【考察】

モニターツアー実施を通じて、子どもたちが比較的長距離であっても楽しんで歩いてくれること、また、歩いている様子を地域の方が目撃することで、地域活性に寄与することが改めて分かった。今回の取り組みを、各地で親子向けツアーを造成する際の知見として活かしていきたい。



1.3.4. ビーチ文化振興協会委託事業：メッセージアート展開催支援等

【委託元】 環境省／NPO 法人日本ビーチ文化振興協会

【実施期間】 以下のとおり

【実施内容】

NPO 法人日本ビーチ文化振興協会が環境省補助事業で開催する、メッセージアート展（海や復興をテーマに募集した作品をＴシャツにして浜辺に展示）及び親子トレイルツアーの開催支援として、開催地との調整、現地スタッフやカメラマンの手配、トレイルツアーの企画等を行った。また、応募作品の中から「みちのく潮風トレイル賞」を１点選定し、みちのく潮風トレイル Hiking Map Book 10 冊セットを進呈した。



① みちのく潮風トレイルメッセージアート展

1. 八戸市蕪島海水浴場 令和２年９月１２日（土）～１３日（日）

※荒天のため両日中止。

2. 普代村普代浜

令和２年９月２６日（土）～２７日（日）

荒天のため２７日のみの開催となったが、近隣市町村の住民の方や、みちのく潮風トレイルを歩いているハイカーの来場があった。



3. 気仙沼市小田の浜 令和２年１０月３日（土）～４日（日）

両日とも天気に恵まれた影響もあり、親子連れやご夫婦、友人グループなど多くの方が来場され、賑わい。同会場ではビーチテニス体験会も開催され、小さなお子さんが初めてラケットを握り、ビーチテニスをする姿も見られた。



② ハイカーと一緒に歩く親子でトレイルツアー

令和２年９月２６日（土）～２７日（日）の１泊２日で、普代村を会場に、自然道歩きや渡渉などを盛り込んだハイキングに加えて、メッセージアート展の観覧、星空観察、朝ヨガ等のプログラムを企画・調整した。３組６名の親子の参加申込があったが、荒天予報のため中止となった。

【考察】

通りがかりに来場された方も多く、みちのく潮風トレイルを知っていただく良い機会となった。アンケート結果では「歩く楽しみを知りたい」という声が多く、今回は中止となってしまったが、トレイルツアーなどハイキングを体験できる機会を創出していく必要がある。

1.3.5. 観察会運営業務

【委託元】 名取市

【履行期間】 令和2年7月8日～令和3年3月31日

【実施内容】

名取市内の自然の中を歩き、自然への親しみを持つとともに、地域の植物や野鳥と身近にふれあい、その観察・学習を通して、名取市の環境保全の推進を広く市民に周知することを目的に、自然観察会と野鳥観察会を実施した。

① 名取市秋の自然観察会

その場で見つけた草木の名前や見分け方を講師に教わりながら、高館山自然レクリエーション施設を散策した。

(ア)開催日時：令和2年10月31日(土) 9:00～12:30

(イ)場所：高館山自然レクリエーション施設(名取市高館吉田字館山)

(ウ)講師：宮城植物の会 滝口政彦氏、杉山多喜子氏

(エ)参加者数：22名(他、キャンセル2名)



② 名取市冬の野鳥観察会

名取 TC から広浦、名取川河口まで歩きながら、野鳥を観察した。

(ア)開催日時：令和3年1月16日(土) 9:00～12:00

(イ)場所：名取 TC を出発し、広浦や名取川河口まで移動

(ウ)講師：日本野鳥の会宮城県支部 佐竹清夫氏、丹野輝英氏

(エ)参加者数：17名



【考察】

名取市主催の時(平成31年度以前)と比較すると参加者数が倍増しており、より多くの市民に身近な自然を体感してもらうことができた。アンケートでは、他の季節や他の自然(地形、両生類、爬虫類等)にも興味があるとの回答が多く、時期や観察場所等のプログラム内容を毎年度変えて開催していきたい。

1.3.6. NPO 主催イベント（屋外）

【実施期間】 令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

【実施内容】

名取 TC 管轄区間内（東松島市～相馬市）でみちのく潮風トレイルを活用したハイキングイベントを開催した。

① みちのく潮風トレイル浦戸諸島の旅 ガイドと歩く桂島、野々島ハイキング

内海信吉氏にガイドを依頼し、島の自然や歴史等を学びながら歩くハイキングイベントを開催した。

（ア）開催日時：令和 2 年 9 月 19 日（土）9:00～15:00

（イ）行程：マリンゲート塩釜～桂島～野々島～マリンゲート塩釜 約 5.5km

（ウ）参加人数：15 名

② みちのく潮風トレイル鹿狼山ハイキング

参加者に長く歩くことの楽しさを体験していただくことを目的に、新地町区間を歩くイベントを開催した。

（ア）開催日時：令和 3 年 1 月 23 日（土）8:30～16:00

（イ）行程：新地駅～右近清水～鹿狼山登山口

～鹿狼山山頂～鹿狼山登山口～新地駅

約 20km

（ウ）参加人数：10 名



【考察】

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染状況を鑑みながらのイベント実施となり、回数こそ少なかった、バリエーションに富んだハイキングイベントを開催する中で、比較的長距離であっても参加者が楽しんで歩いてくれることが分かった。この結果をもとに、次年度は名取トレイルセンターの管轄区間である相馬市～東松島市までのトレイルルートを 10 回に分けて歩くイベントなど、みちのく潮風トレイルを歩く楽しみを参加者に伝えるイベントを企画していきたい。

1.4. トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業

1.4.1. NPO 主催イベント（館内）

【実施期間】 令和2年4月1日～令和3年3月31日

【実施内容】

名取 TC 館内でトレイルの世界観やハイキング中に必要な知識を伝えるイベントを開催した。

① NO SURPRISES 中島 悠二 みちのく潮風トレイル写真展

みちのく潮風トレイルのパンフレットやみちのくトレイルクラブの HP で写真を使わせていただいている写真家 中島悠二氏の写真展を開催した。

（ア）開催期間：令和2年9月5日（土）～開催中

② NO SURPRISES 中島 悠二 みちのく潮風トレイル写真展 トークイベント

上記イベント①に併せてトークイベントを開催した。

（ア）開催日時：令和2年9月5日（土）14:00～16:00

（イ）登壇者：写真家 中島悠二氏

（ウ）参加人数：15 名

③ ファーストエイド講習会

ハイキング中などに起こる、不意の怪我に対する応急処置方法を学ぶ講習会を開催した。

（ア）開催日時：令和3年2月28日（日）9:30～12:00

（イ）講師：メディック・ファーストエイド（MFA）インストラクター 本間一字氏

（ウ）参加人数：9 名

【考察】

館外イベント同様、新型コロナウイルス感染状況を鑑みながらのイベント開催となったが、ハイカー同士の交流が館内で生まれるきっかけ作りができた。令和3年度はトレイル沿線上の自然環境や、歴史・文化に関わるイベントの実施も視野に入れて検討を進めたい。



1.4.2. 令和２年度みちのく潮風トレイルの広報に関する企画検討業務

【委託元】 環境省東北地方環境事務所

【履行期間】 令和２年５月２１日～令和２年６月２６日

【実施内容】

令和２年６月にみちのく潮風トレイルが全線開通１周年を迎えることを踏まえ、より一層の利用促進を図るため、令和２年度内の広報について計画を立案するとともに、計画の実行に必要な業務を発注するための仕様書（案）の作成と経費の積算を行った。また、令和２年度１回程度トレイルの普及啓発のためのイベントを実施するため、本イベントの企画書を作成した。

なお、トレイルの普及啓発のためのイベントとして、当初は仙台メディアテークを会場にして、複数のレクチャーとトークイベント、気軽に参加できる双方向型企画、展示企画を検討していたが、新型コロナウイルスの影響により当該イベントの実施が困難となった。このため、委託元と相談して、新型コロナウイルスの影響を受けない形での展示企画に修正して作成した。

<作成した仕様書（案）>

① トレイルの普及啓発を行うイベント

１．駅構内等における、みちのく潮風トレイル普及啓発展示（案）

JR の駅構内に置いて、みちのく潮風トレイルの広報用に用意されている素材を活用して、展示等を展開する。

② イベント以外の事業企画

１．みちのく潮風トレイルのモデルコースパンフレットの作成

令和元年度みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター等管理運営業務で作成した各サテライト３本、合計１８本のモデルコースを紹介するパンフレットを作成する。

２．みちのく潮風トレイルのポスターの作成

みちのく潮風トレイル上を歩くハイカーや地域の方々等を入れ込んだ宣伝写真を撮影し、今後みちのく潮風トレイルの広報宣伝に活用するポスターとして３０種（２８市町村とみちのく潮風トレイル憲章（日／英）を掲載）作成する。

【考察】

みちのく潮風トレイルが通過する４県の内陸部及びその他東北３県における地域住民らの認知はいまだ高いとはいえず、今回提案した３つの事業は、当該地域住民への周知を図る他、興味があるがどこを歩けば良いか分からないの方々に対して、入口となる企画である。これらの取組を通して、今後幅広い層の方々にみちのく潮風トレイルを歩いていただくことが、東北のこれからの復興に資するものになり続ける第一歩だと考える。

1.4.3. JR 東日本仙台駅構内におけるみちのく潮風トレイル普及啓発展示イベント業務

【委託元】 一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所

【実施期間】 以下の通り

【実施内容】

JR 東日本仙台駅において、大型モニターでのみちのく潮風トレイルトレイルの動画上映、展示物の設営及び来訪者への案内を行った。会場では、アンケート参加者へみちのく潮風トレイルのオリジナルグッズ（バンダナ、缶バッジ）を配布し、また希望者へトレイルマップを無料配布した。

(ア)実施期間：令和2年12月11日（金）～令和2年12月13日（日）

(イ)会場：JR 東日本仙台駅2階ヨリ未知スペース

(ウ)来場者数：473名（3日間）



12/11～13 みちのく潮風トレイル 全線開通一周年記念イベント 来場者数等

	来場者カウンター値	アンケート回答者数	マップ申込者数	マップ配布部数
12月11日	130	79	31	772
12月12日	143	74	28	784
12月13日	200	82	27	785
3日間の合計	473	235	86	2,341

【考察】

JR 駅での PR イベント開催は初の試みで、連日多くの人が会場を訪れ大型モニター前で足を止めて動画を見入ったり、スタッフから解説を興味深く聞いたりという来場者の姿が見受けられた。また SNS で繋がっていたハイカーの方々や、浦戸諸島の渡船の船長さん等が会場で実際に会う場面もあり、みちのく潮風トレイルが目指す理念が全線開通 1 年にして少しずつ具現化してきていると実感することができた。アンケート結果からは、東北以外の地域から出張や旅行で仙台を訪れている人も多く、みちのく潮風トレイルを広く周知することができたと考えられる。

1.4.4. JR 東日本盛岡駅構内におけるみちのく潮風トレイル普及啓発展示イベント業務

【委託元】 一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所

【実施期間】 以下の通り

【実施内容】

JR 東日本盛岡駅北口改札付近スペースにおいて、みちのく潮風トレイルトレイルの展示物の設営及び来訪者への案内を行った。会場では、アンケート参加者へみちのく潮風トレイルのオリジナルグッズ（バンダナ、缶バッジ）を配布し、また希望者へトレイルマップの無料配布を行った。

（ア）実施期間：令和 3 年 3 月 12 日（金）～令和 3 年 3 月 14 日（日）

（イ）会場：JR 東日本盛岡駅 2 階北改札口脇

（ウ）来場者数：544 名（3 日間）



3/12(金)～14(日) みちのく潮風トレイル 全線開通一周年記念イベント（盛岡駅） 来場者数等

	来場者カウンター値	アンケート回答者数	マップ申込者数	マップ配布部数
3月12日	78	41	30	741
3月13日	101	72	33	1,031
3月14日	365	160	115	3,138
3日間の合計	544	273	178	4,910

【考察】

12 月の JR 仙台駅に続き、JR 盛岡駅での開催となったが、JR 会報誌『大人の休日倶楽部』への掲載や、最終日の岩手日報朝刊への記事掲載があったことで、多くの方にご来場いただいた。また、会場が岩手県内ということもあり、トレイルの認知度は過去開催したイベントの中では最も高かった。フェイスブックやインスタグラム等を見て来たという方も多く、SNS の影響力を改めて感じた 3 日間だった。今後も引き続き JR 等と連携しながら、各地でイベント開催し周知を図っていききたい。

1.4.5. 令和2年度みちのく潮風トレイルのポスターデータ作成業務

【委託元】 環境省東北地方環境事務所

【履行期間】 令和2年11月24日～令和3年3月15日

【実施内容】

今後のみちのく潮風トレイルの広報に使用するための宣材写真を集め、広報宣伝に活用するポスター8種（6サテライト区間各1枚、みちのく潮風トレイル憲章 日／英の2枚）を作成した。

【考察】

みちのく潮風トレイルへの問合せが増加する中、写真借用依頼も大変多いため、今回の業務で撮影した写真を宣材として使うことができれば、大変有意義である。本業務では、季節、時間ともに限られていたため、今後も引き続き、不足する時期やエリアの写真を集めていきたい。

これまでみちのく潮風トレイルのポスターはなかったため、今回作成したポスターは新たな広報資材として活用していきたい。本業務で作成したポスターは8種であったが、メインビジュアル1つとシンプルなコピーによる別のデザインテイストのポスターや、広域連携の取組であることを考えると28市町村別のポスターがあっても良いと考える。



1.4.6. 令和2年度みちのく潮風トレイルモデルコース集作成業務

【委託元】 環境省東北地方環境事務所

【履行期間】 令和3年2月1日～令和3年3月29日

【受託金額】 992,200 円

【実施内容】

令和元年度みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター等管理運営業務で作成された、各サテライト施設管轄区間3本ずつ、合計18本のモデルコースについて、みちのく潮風トレイルを活用したツアー造成を希望する事業者、並びにみちのく潮風トレイルの個人利用者等に提供し、利用を促進することを目的とするモデルコース集を作成した。



【考察】

作成したモデルコース集は、「どこを歩いたらよいか」といった問い合わせに対応する際の資料として利用できる。道路状況の変化等に伴う定期的なモデルコースの検証・更新や、今回掲載できなかった地域を対象としたモデルコースの造成、並びに旅の目的が多様化する中での様々な魅力を盛り込んだ新たなモデルコース造成についても、継続的に取り組んでいく必要があると考える。

1.4.7. 令和2年度みちのく潮風トレイルイベントパンフレット改定業務

【委託元】 環境省東北地方環境事務所

【履行期間】 令和3年2月26日～令和3年3月29日

【実施内容】

トレイル沿線各地における令和3年度のイベント実施予定をとりまとめ、令和2年度に作成した「みちのく潮風トレイルイベントパンフレット」の表面のレイアウトの変更及び、内面のイベント情報を更新し、データを公開した。

【考察】

「中長期的なイベント予定がわかると遠方からも参加しやすい」という利用者からの声をいただき、作成している。

令和2年度はコロナ禍で中止されたイベントが多かったが、そういった状況の中でも多くのイベントが令和3年度に予定され、沿線地域におけるトレイルイベントの定着化が見て取れた。

2021年度 イベント情報

みちのく潮風トレイル ウォークイベントスケジュール

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

各月のイベント詳細は、パンフレットの下部に記載されています。

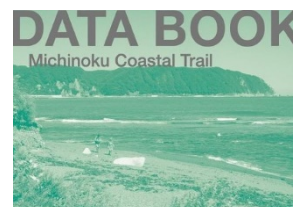
1.4.8. 助成金事業／地球環境基金

【活動期間】 令和2年4月1日～令和3年3月31日（活動2年目）

【実施内容】

① ハイカー用データブックの作成

平成31年度に作成した試作版データブックについてハイカーからの意見収集、データ更新のための調査を行い、販売用データブック（日英併記）を作成した（令和3年4月1日販売開始）。



② みちのくトレイルクラブホームページの作成

令和2年3月末に公開開始した、みちのく潮風トレイルの情報を集約した「みちのくトレイルクラブホームページ」の内容を大幅に更新し、令和2年10月1日に公開した。



③ パーミット制度構築に向けた調査

ハイカーに特別なサービス（給水、トイレ利用、充電、テント場の提供、商品割引など）を提供する個人・事業者を「MCT サポーターズ」と命名し、令和3年4月からホームページに情報を掲載した。

④ ブロックフォーラムの開催

沿線地域住民を対象に、みちのく潮風トレイルを知ってもらう／より深く理解してもらうためのフォーラムを沿線3箇所で開催した。

1. 北山崎 VC 管轄区間（田野畑村）

（ア）開催日時：令和2年11月7日（土）16:00～18:00

（イ）講師：自然の専門家 高橋晃氏、大淵香菜子氏

（ウ）参加人数：23名



2. 種差海岸 IC 管轄区間（八戸市）

（ア）開催日時：令和2年11月14日（土）15:00～17:00

（イ）講師：国内外のトレイルを歩いたハイカー 地現葉子氏

（ウ）参加人数：23名



3. 浄土ヶ浜 VC 管轄区間（宮古市）

（ア）開催日時：令和2年12月13日（日）9:30～11:30

（イ）登壇者：ハイカーズデポ代表 土屋智哉氏、地元ハイカー 志賀鉄太郎氏、木村富美子氏、浄土ヶ浜 VC 佐々木洋介氏、みちのくトレイルクラブ 関博充

（ウ）参加人数：45名

⑤ 整備ボランティア体制構築に向けた整備活動の実施

整備活動情報をメールでお知らせする「整備ボランティア」の登録を開始し、77名・2団体を登録した。整備活動は沿線各地で11回（161名参加）開催した。

1.4.9. 東北 DC デジタルスタンプラリー

【企画者】 東北デスティネーションキャンペーン推進協議会

【実施内容】

令和3年4月1日から9月30日まで開催が予定されている「東北デスティネーションキャンペーン」の中の「巡るたび、出会う旅。東北 デジタル周遊スタンプラリー&クーポン」企画に参画した。「みちのく潮風トレイル」というテーマを、東北観光推進機構に設定していただき、28市町村に3箇所ずつ、合計84箇所のスタンプ設置箇所と3箇所のデジタルクーポン設置箇所を設定した。

【企画概要】

スタンプ設置箇所は、28市町村の担当者、サテライト施設職員のご協力のもと、できるだけトレイル上の歩いてしか行けない場所を選定し、ハイカーが参加しやすい内容にした。30箇所以上のスタンプを集めると景品応募ができる。景品はTRAIL GATE オリジナルTシャツ（黄色）である。デジタルクーポンは、北山崎ビジターセンター、浄土ヶ浜ビジターセンター、みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンターの3箇所に設置し、TRAIL GATE オリジナルTシャツを割引価格で購入できる。

【考察】

このスタンプラリーに参加される方々に、みちのく潮風トレイルを知っていただくきっかけになるとともに、ハイカーが広域的に歩く機会となることを期待している。現在、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、開始時期が延期されている。



1.4.10. 講師・講演、執筆活動等

【実施期間】 令和2年4月1日～令和3年3月31日

【実施内容】

みちのく潮風トレイルの周知・広報活動として、講演等を行った。

① 講演会等での発表等（13回）

年月日	講演会等名称	開催地	講演題目	参加人数
令和2年7月21日	～加藤則芳メモリアル～トレイル座談会 on YouTube Live	オンライン	みちのく潮風トレイルとは 	53名
令和2年7月30日	NECTA 自然とのふれあい技術研究会	オンライン	みちのく潮風トレイル、みちのくトレイルクラブの概要、名取トレイルセンターの防災機能	20名
令和2年8月1日	みちのく潮風トレイル 陸前高田ルート 祝・3歳！	オンライン	オンライントークイベント 	不明
令和2年10月18日	インアウトバウンド仙台・松島ガイド研修	宮城県	みちのく潮風トレイルについて	20名
令和2年10月21日	柴田町船迫生涯学習センター豊齢者教室	宮城県	みちのく潮風トレイルについて 	50名
令和2年10月26日 ～11月1日	国立・国定公園への誘客”霧島・えびの高原ロングトレイル推進事業”招請事業【ファムトリップ及び意見交換会】	鹿児島県	意見交換、先進地としてのアドバース	20名
令和2年11月1日	唐桑ガイドの会研修会	宮城県	みちのく潮風トレイルについて	20名
令和2年11月8日	日本環境アセスメント協会東北支部セミナー	宮城県	みちのく潮風トレイルについて	36名

令和2年11月13日	青森大学付属総合研究 SDGs 研究センター主催の第5回勉強会	オンライン	「聴く」ということ	30名
令和2年12月8日	2020年度公開講座 観光現場の挑戦「町をつなぎ人をつなぎ、1,025kmのみちづくりへの挑戦」	オンライン	「みちのく潮風トレイル」管理運営の仕組みの構築 	100名
令和2年12月10日	はしかみおもてなし連絡会	青森県	みちのく潮風トレイルについて	25名
令和2年12月13日	ブロックフォーラム in 浄土ヶ浜	岩手県	東北太平洋岸自然歩道みちのく潮風トレイル	50名
令和3年3月11日	3.11 SAPPORO SYMPO 11年目の3.11	オンライン	歩く速さで感じたい～「みちのく潮風トレイル」を知っていますか？～ 	不明

② 露出メディア一覧

1. 新聞（49件）

発行年月日	掲載紙	タイトル
令和2年4月14日	読売新聞	潮風トレイル傷痕 今も
令和2年4月30日	東海新報	自然と人の営み間近に 陸前高田市ルート①米崎町西風道—小友町矢の浦
令和2年5月4日	公明新聞（5面）	自然生かすグリーン復興
令和2年5月18日	日経新聞	Welcome to 宮城 震災と復興感じて歩く
令和2年5月25日	スポーツ産業新聞	今年もメッセージアート展東北4県トレイル1周年で
令和2年5月28日	東海新報	広田半島をぶらり 先人の教えも胸に刻む 陸前高田市ルート②広田町中沢—同町集
令和2年6月9日	岩手日報	希望の道 復活願って みちのく潮風トレイル全線開通1年 関係者、誘客見据え
令和2年6月15日	河北新報（夕刊）	歩くための道 維持を 整備ボランティア募集
令和2年6月28日	デーリー東北	みちのく潮風トレイル①蕪島～大蛇駅
令和2年7月4日	デーリー東北	みちのく潮風トレイル②階上町
令和2年7月4日	朝日新聞	フロントランナー（シェルパ齊藤さん）

令和2年7月5日	東奥日報	「潮風トレイル」14km 歩いて点検
令和2年7月11日	三陸新報	三陸沿岸歩いて縦断
令和2年7月18日	デーリー東北	走って洋野町を元気に トレイル町内28ヶ所紹介
令和2年7月19日	デーリー東北	みちのく潮風トレイル③洋野町
令和2年7月19日	岩手日報	歩く伝える復興の道（冒険家阿部さん）
令和2年7月20日	河北新報	唐桑トレッキング一目で
令和2年7月21日	東海新報	吉浜でトレイルボランティア整備活動
令和2年7月21日	秋田さきがけ	冒険家・阿部雅龍さん MCT 踏破
令和2年7月25日	デーリー東北	クローズアップ MCT（久慈市）
令和2年8月10日	デーリー東北	クローズアップ MCT（野田村）
令和2年8月12日	岩手日報	こちら潮風トレイル部
令和2年8月13日	岩手日報	こちら潮風トレイル部
令和2年8月14日	岩手日報	こちら潮風トレイル部
令和2年8月18日	岩手日報	こちら潮風トレイル部
令和2年8月19日	岩手日報	こちら潮風トレイル部
令和2年8月20日	岩手日報	こちら潮風トレイル部
令和2年8月23日	デーリー東北	クローズアップ MCT（普代村）
令和2年8月31日	河北新報	ハマボウフウ次世代に継承
令和2年9月13日	公明新聞（1面）	復興の道、見て、感じて
令和2年9月15日	東海新報	陸前高田市ルート③気仙町福伏一同町湊
令和2年9月29日	岩手日報	浜彩る T シャツアート トレイル全通1周年記念展
令和2年9月28日	河北新報	浦戸の自然歩いて満喫（潮風トレイル塩竈・イベント）
令和2年9月30日	三陸新報	小田の浜でメッセージ T シャツ展示
令和2年10月7日	三陸新報	海と親しむきっかけに
令和2年10月8日	東海新報	陸前高田市ルート④気仙町湊—高田町館の沖
令和2年10月9日	福島民報	「潮風トレイル」復興へ決意新た
令和2年10月14日	河北新報	潮風トレイル観光振興貢献
令和2年10月14日	岩手日報	未来への伝言
令和2年11月24日	デーリー東北	潮風トレイル PR へ連携確認
令和2年11月25日	東奥日報	潮風トレイル利用促進を
令和2年12月15日	岩手日報	潮風トレイル 地図刷新
令和2年12月27日	東奥日報14面	お薦め旅行先に「潮風トレイル」
令和3年1月19日	三陸新報	動画でツアーPRを みちのく潮風トレイル気仙沼で検討会
令和3年1月19日	東海新報	陸前高田市ルート⑤広田町前花貝一同町六ヶ浦
令和3年1月31日	河北新報朝刊	「共に歩もう」トレイルの拠点に

令和3年3月14日	岩手日報	潮風トレイル 楽しさ知って きょうまで盛岡駅で催し
令和3年3月18日	東海新報	無料配布は今月まで
令和3年3月19日	デーリー東北	種差海岸 動画でPR

2. 雑誌 (5 件)

発行年月日	掲載誌	タイトル
令和2年3月31日	フィールドライフ 春号 No67	シェルパ齊藤のニッポンの山をバックパッキング みちのく潮風トレイル
令和2年4月10日	BE-PAL 5月号	浮気心でちょっと寄り道!? 聖火リレーときどきみちのく潮風トレイル
令和2年10月31日	げんき倶楽部杜人 11・12月号	歩くことをたのしもう! みちのく潮風トレイル<県内沿岸部を歩く道>
令和3年	パナソニック「建設設計レポート」	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター
令和3年2月25日	大人の休日倶楽部 3月号 (JR 東日本会員誌)	みちのく潮風トレイルを往く

3. テレビ (8 件)

放送年月日	放送局、番組名	タイトル
令和2年4月25日	岩手めんこいテレビ「山・海・漬」	みちのく潮風トレイル 種市〜久慈 編
令和2年6月13日	東北放送	みちのく潮風トレイル 快適に歩けるようコースで草刈り
令和2年7月11日	岩手めんこいテレビ「山・海・漬」	みちのく潮風トレイル 野田〜普代 編
令和2年8月5日	みやぎ放送 ミヤギ news every.	閑上の町紹介
令和2年8月30日	KHB 東日本放送	MCT を歩いて海浜植物を見てみよう!
令和2年9月	NHK World BS1 「Journeys in Japan」	North Iwate: On the Trail to Recovery
令和2年11月	NHK World BS1 「Journeys in Japan」	South Iwate: On the Trail to Recovery
令和3年3月	NHK World BS1 「Journeys in Japan」	Miyagi: On the Trail to Recovery

4. ラジオ (3 件)

放送年月日	放送局、番組名	タイトル
毎週第四金曜日	エフエムなとり	なとらじ WIDE【生放送】
令和2年4月2日	TBC ラジオ「ボン ボヤージュ」	名取トレイルセンターの紹介
令和2年7月14日	エフエムなとり	なとらじ WIDE【生放送】

5. 海外メディア (6 件)

発行年月日	掲載誌	タイトル
令和2年4月25日	The Japan Times	Where we want to go in Japan once this is all over
令和2年7月1日	BBC-Travel	Why are Japanese so resilient?

令和 2 年 11 月 17 日	NATIONAL GEOGRAPHIC	Best of the World: seven unforgettable family journeys for 2021 and beyond
令和 2 年 7 月 22 日	Japan Travel	Postcards from Japan: Coastal beauty, local community and 'kizuna' in Tohoku with Kumi Aizawa
令和 3 年 1 月 23 日	Japan Travel	Feeling Inspired on the Michinoku Coastal Trail
令和 3 年 3 月 19 日	NATIONAL GEOGRAPHIC	Interview: Kumi Aizawa on how Tohoku survived the 2011 tsunami and came out stronger than ever

1.5. トレイルに関わる調査・研究事業

本事業年度は実施なし。

1.6. トレイルに関わる人材育成・ガイド養成事業

本事業年度は実施なし。

1.7. 上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業

1.7.1. 運営協議会業務（名取市負担金）

【委託元】 名取市

【履行期間】 令和2年4月1日～令和3年3月31日

【実施内容】

事業1 みちのく潮風トレイルの管理運営に関する事業

① 統括本部として行った事業

- (ア) 路線の再設定支援、サテライトとの連絡調整、サテライトからの情報収集、サテライトへの情報提供・指示
- (イ) 状態把握（一斉巡視等）の声かけ
- (ウ) 管理台帳の管理・更新・共有
- (エ) 環境省直轄区間の維持管理業務（通年）
- (オ) 旅行会社等への情報提供
- (カ) 地域連絡会の開催支援
- (キ) サテライト連絡会の開催
- (ク) ボランティアの募集と管理
- (ケ) その他
 - ・利用者情報として、マップ配布数やアンケート結果の集計、SNS 等への投稿から歩いた感想等の収集を行った。
 - ・環境省が所有するイベント用具類の貸出・管理を行った。（13 会場で使用）

② 東松島市から相馬市区間のサテライトとして行った事業

- (ア) 東松島市から相馬市との連絡調整、情報収集・提供
- (イ) 状態把握（一斉巡視等）の声かけ
- (ウ) 現地調査

事業2 ハイカー、来館者等へのサービス提供事業

窓口対応、電話・メール問合せ対応、館内案内、来館者へのレクチャー等を行うとともに、名取 TC 館内で以下の企画展示を行った。

① トレイルセンター1周年記念ハイカー写真展

平成31年度に名取 TC に来館されたハイカーの写真のエピソードとともに紹介した。

- (ア) 開催期間：令和2年5月18日（月）～令和2年6月8日（日）



② トレイル全線開通 1 周年企画展示

全線開通 1 周年を記念し、みちのく潮風トレイルの運営体制や国内外での紹介事例、ハイカーの感想等を紹介する展示を行った。

(ア)開催期間：令和 2 年 6 月 10 日 (水) ～

事業 3 環境教育プログラム等提供事業

① 歩き方講座、地域を学ぶ講座等の環境プログラムの提供

1. みちのく潮風トレイルを歩いて海浜植物を見てみよう！

(共催：NPO 法人名取ハマボウフウの会)

(ア)開催日時：令和 2 年 8 月 30 日 (日)

(イ)参加者数：37 名



② トレイルセンターを活用してプログラムを実施する他団体の情報収集及び連携体制の構築 (宮城インバウンド DMO、(一社) 日本環境アセスメント協会、関上の記憶、NPO 法人名取ハマボウフウの会、(株)インアウトバウンド仙台・松島、ボーイスカウト名取第一団等と連携した。)

事業 4 地域交流促進事業

① 地域向け講座、各種ウォークイベント、クラフト体験等

1. 秋の名取熊野三社満喫ウォーク

(主催：一般社団法人 名取市観光物産協会)

(ア)開催日時：令和 2 年 11 月 23 日 (月) 9:00～12:30

(イ)行程：那智が丘公民館～熊野本宮社～熊野神社～熊野那智神社

(ウ)参加者数：20 名



2. 関上周遊ウォーク

(ア)開催日時：令和 2 年 12 月 5 日 (土) 13:00～15:30

(イ)行程：名取 TC～名取市震災復興伝承館～名取市サイクルスポーツセンター～名取 TC

(ウ)参加者数：17 名



② トレイルセンター周辺の施設等の情報発信

事業5 センター維持管理事業

① 館内及び敷地の清掃

② 設備の点検

事業6 その他、事業の理念・目的を達成するために必要な事業

① 日本ロングトレイル協会など関係他団体との情報交換

② その他

(ア)新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、ハイカーに対して注意喚起を行った。

(4/17: 地域をまたぐ移動を伴うハイキングを控えていただくお願いの周知、

6/1: 健康を守る行動を取っていただくお願いの周知)

(イ)運営協議会会長による八戸市長・久慈市長・普代村長への表敬訪問、トレイルルート視察(八戸市・久慈市ルート、普代村寄り道ルート)

期間: 令和2年11月18日(水)～令和2年11月19日(木)



【考察】

令和2年度は、4月7日に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が出されたことに伴い、ハイカーへの注意喚起及び事業の変更、延期等の対応を行った。以降は新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、会議をオンライン開催に変更するなど対策を取りながら行った。環境教育プログラム等提供事業、地域交流促進事業の野外でのイベントは無事開催でき、名取市民をはじめ一般の方にご参加いただくことができた。また、11月には協議会会長である山田名取市長による八戸市長・久慈市長・普代村長への表敬訪問及びトレイルルート視察を実施した。4県28市町村との連携をさらに強めるため、運営協議会会長の表敬訪問は来年度以降も引き続き実施したいと考えている。

1.7.2. ハイカー、来館者等へのサービス提供事業、センターの管理業務

(令和2年度みちのく潮風トレイル名取トレイルセンター管理運営等業務)

【委託元】 環境省東北地方環境事務所

【履行期間】 令和2年4月1日～令和3年3月31日

【実施内容】

① ハイカー、来館者等へのサービス提供事業

1. 館内施設の使用案内

来館者に対し施設の使用案内を行う他、館内施設（講義室、会議室、実習室）等の予約対応、貸し出しを行った。

※令和2年4月18日～5月17日、令和3年3月31日は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館した。

2. 利用者への情報提供

ハイカーに必要な情報をセンター窓口で情報提供し、センターの展示に記載・掲示、展示資料を作成した。さらに、ウェブサイト等に日英併記で掲載しハイカーへの周知を図った。トレイル全般に対しての電話、メール等による利用者からの問合せに対応した。

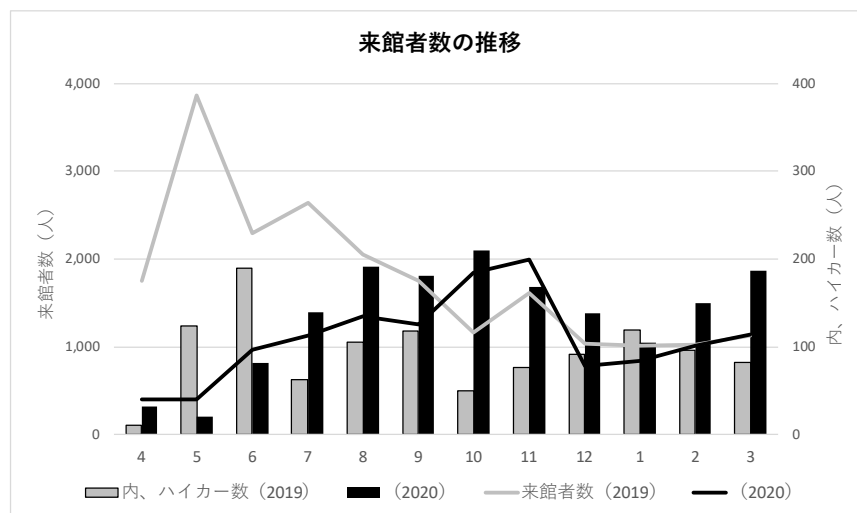


(ア) 年間来館者集：13,126名（内、ハイカー 1,604名）※次ページ参照

(イ) 問合せ件数：電話 506件、メール（フェイスブック含む）122件

みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター来館者数の推移

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年度累計
来館者数	2019	1,755	3,862	2,298	2,644	2,058	1,753	1,166	1,613	1,041	1,014	1,023	1,132	21,359
	2020	406	399	962	1,132	1,344	1,258	1,847	1,994	784	846	1,016	1,138	13,126
内、ハイカー数	2019	11	124	190	63	105	118	50	77	91	119	96	82	1,126
	2020	32	20	82	140	191	181	210	168	138	105	150	187	1,604



② センターの管理業務

1. 清掃業務

センターの利用環境を快適に維持するため、日常清掃と定期清掃を実施した。

2. センターの点検等業務

施設の点検管理を行った。

【考察】

コロナ禍という状況ながら、野外でのアクティビティの一つとしてみちのく潮風トレイルに関心が向けられ、夏から秋にかけて来館者数は緩やかに増加した。電話やメールでの問い合わせも前年度に比べ増加傾向にあった。本事業年度は、一般利用者だけでなく、旅行会社等の事業者からの問い合わせが増えたことが特徴的であった。

1.8. その他、第3条の目的を達成するために必要と認められる事業

1.8.1. みちのく潮風トレイル Hiking Map Book の制作／販売

【実施期間】 令和2年4月1日～令和3年3月31日

【実施内容】

環境省が発行するトレイルマップが令和3年3月末で配布終了となることに伴い、民間によるみちのく潮風トレイルの持続可能な運営へと進めていくため、みちのく潮風トレイル Hiking Map Book を制作し、令和2年10月1日から販売開始した。地点間の距離や標高差、道の分岐や進行方向などの歩く際に必要な情報を掲載するとともに、携帯性（重量や持ちやすさ）にもこだわり、トレイル全線を歩いたハイカーに監修・作成していただいた。

販売場所は、名取 TC を始めとするサテライト施設に加えて、歩いている時にも購入できるようトレイル沿線上での販売協力施設を増やしている。

(ア)構成

Book 01：蕪島～久慈駅（八戸市～久慈市）区間距離 93km

Book 02：久慈駅～摂待駅（久慈市～宮古市）区間距離 99km

Book 03：摂待駅～陸中山田駅（宮古市～山田町）区間距離 106km

Book 04：陸中山田駅～釜石駅（山田町～釜石市）区間距離 121km

Book 05：釜石駅～陸前高田駅（釜石市～陸前高田市）区間距離 129km

Book 06：陸前高田駅～本吉駅（陸前高田市～気仙沼市）区間距離 102km

Book 07：本吉駅～女川駅（気仙沼市～女川町）区間距離 114km

Book 08：女川駅～石巻駅（女川町～石巻市）区間距離 102km

Book 09：石巻駅～名取 TC（石巻市～名取市）区間距離 82km

Book 10：名取 TC～松川浦（名取市～相馬市）区間距離 97km

(イ)販売価格：税込 1,650 円（※税抜価格の 5%は寄付金として活用）

(ウ)販売部数（令和2年度）：10 種合計 1,151 部

【考察】

トレイルを歩く上で地図は必要不可欠なアイテムであり、遠方からでも入手しやすくするために、令和3年4月1日には TRAIL GATE のオンラインショップを開設した。現在、ほぼ毎日注文が寄せられており、迅速・丁寧な対応を心がけていきたい。

また、今後復興工事の終了等に伴い、ルート変更が発生すると予想されるため、情報収集及び改訂作業を定期的に行っていく必要がある。



◇居住地（代表者）

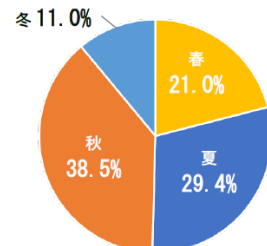
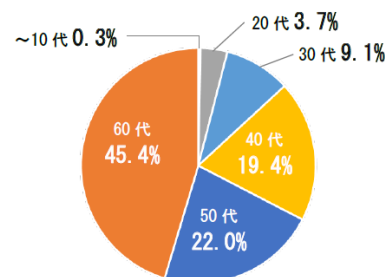
北海道		17
東北	青森県	139
	秋田県	19
	岩手県	313
	宮城県	581
	山形県	30
	福島県	36
	合計	1,118
関東		326
中部		38
近畿		52
中国		8
四国		3
九州・沖縄		11
合計		1,573

◇年代（代表者）

～10代	5
20代	58
30代	144
40代	306
50代	347
60代～	714
合計	1,574

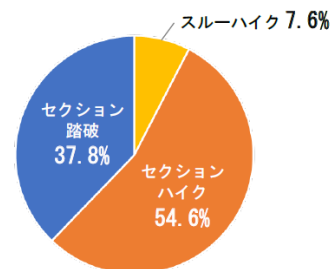
◇步行予定時期（複数選択可）

春(3～5月)	502
夏(6～8月)	703
秋(9～11月)	921
冬(12～2月)	264
合計	2,390



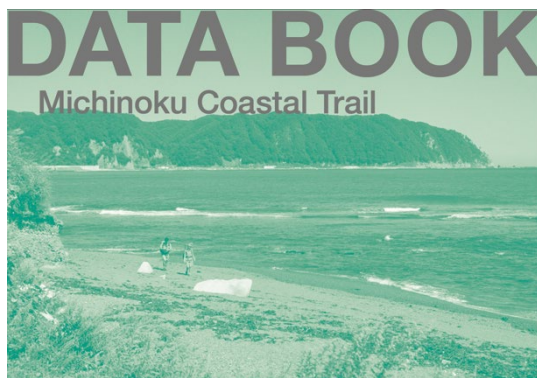
◇歩き方（×歩行人数）

スルーハイク	221
セクションハイク	1,591
セクションハイクを繰り返して最終的には踏破予定	1,101
合計	2,913



【実施内容】

平成 31 年度に作成した試作版 Data Book を基に、ハイカーが実際に歩いて確認し、最新の情報へと更新するとともに、掲載する情報を改めて精査して販売用 Data Book を作成した。Hiking Map Book よりもさらに細かく、「トレイル起点・終点からの累計距離」「地点

[illegible][illegible]

間距離」「標高差」「隣の駅」「トイレ」「水場」「商店」などの歩く計画を立てるために必要な情報を掲載した。

【考察】

令和 3 年 4 月 1 日から、名取 TC を始めとするサテライト施設にて販売を開始した。特に、同日開設した TRAIL GATE のオンラインショップで注文が多く寄せられているが、Data Book は日本ではまだあまり馴染みのないものであるため、使い方をよく知らない方も多いと考えられる。ハイカーが歩く計画を立てやすくなるよう、HP や SNS など具体的な使い方を説明するなどして、Data Book という新たなツールを発信していきたい。

2. その他事業

2.1. 旅行業法に基づく旅行業

本事業年度は実施なし。

2.2. 旅行業法に基づく旅行業者代理業

本事業年度は実施なし。

2.3. 宿泊施設及びガイドのあっせん事業

本事業年度は実施なし。

2.4. トレイルに関する旅行商品企画事業

本事業年度は実施なし。

2.5. トレイル関連商品の販売事業

2.5.1. TRAIL GATE／オリジナルグッズ

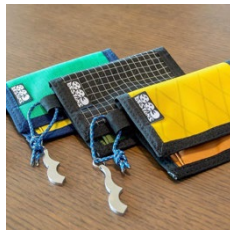
【実施期間】 令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

【実施内容】

名取 TC に訪れた方から、「みちのく潮風トレイルのグッズが欲しい」という要望が非常に多かったことから、お土産としてお買い求めいただきやすい商品を昨年度から開発しており、令和 2 年 4 月から順次、TRAIL GATE オリジナルグッズ（T シャツ、缶バッジ、ステッカー、財布）の販売を開始した。

販売場所は、名取 TC を始めとするサテライト施設に加えて、歩いている時にも購入できるようトレイル沿線上での販売協力施設を増やしている。

<令和 2 年度販売開始商品一覧>

商品名	T シャツ	缶バッジ	ステッカー	財布
				
税込価格	2,750 円	330 円	220～330 円	4,070 円
種類	グレー、ネイビー	デザイン 4 種	デザイン 3 種	グリーン、ブラック、イエロー
サイズ	GM、S、M、L、XL	—	—	—

【考察】

令和 3 年 4 月 1 日には TRAIL GATE のオンラインショップを開設し、オリジナルグッズの販売も行っている。みちのく潮風トレイル Hiking Map Book や Data Book と一緒にお買い求めいただく方が多く、店舗だけでなくウェブ上でもお土産や記念品としてのニーズがあることがわかった。

既存商品の在庫を適正管理して欠品にならないよう努めるとともに、今後もみちのく潮風トレイルファンの方に喜んでいただける魅力的な商品の開発を継続していきたい。

2.5.2. TRAIL GATE／物販

【実施期間】 令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

【実施内容】

株式会社ハイランドデザインと事業提携し、トレイルセンターにハイカー向けの商品を扱う売店として令和元年 11 月 13 日に開設した「TRAIL GATE」にて、令和 2 年度もハイカーへの物販提供を行った。TRAIL GATE で販売するギア類は、既存のものに加え、来館者が手に取りやすい手頃な価格のアクセサリー類（小型爪切り、コンパス付き温度計、携帯軽量テーブルなど）の新規取扱を開始した。



【考察】

みちのく潮風トレイルを歩く前に準備する物、歩いている途中で必要になる物など、ハイカーにとっての TRAIL GATE の役割を再分析し、株式会社ハイランドデザインの協力を得ながら新しい商品を徐々に展開して、ハイカーに供給出来る道具を増やしていく。販売するだけではなく、ハイキングの道具を通じて歩く文化を伝えるショップとなれることを目的として運営する。

2.5.3. 自動販売機での飲料提供

【実施期間】 令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

【実施内容】

名取 TC 館内及び敷地内にある自動販売機（計 3 台）で飲料を販売した。令和 2 年度は外構工事が行われていたため、館外の自動販売機の利用率が高かった。



【考察】

歩いている途中に名取 TC に立ち寄り、飲料を購入して休憩される方が増えている。加えて、令和 3 年度にはキャンプ場オープンが予定されているため、特に館外での需要は高まると予想され、引き続き飲料提供を行っていききたい。